

1995年11月に安達太良火山で発生した火山性微動*

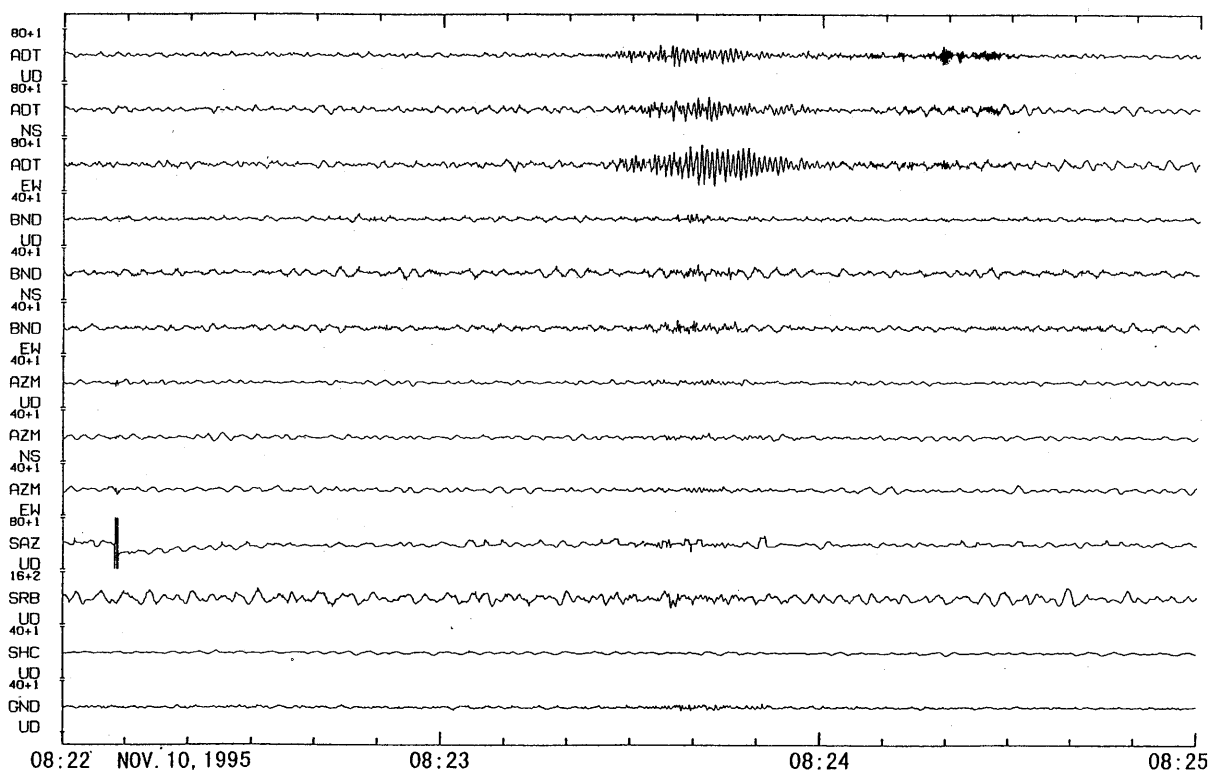
Volcanic Tremor Observed in and around Adataro Volcano in November, 1995

東北大学理学部
地震予知・噴火予知観測センター
Observation Center for Prediction of Earthquakes and
Volcanic Eruptions Faculty of Science Tohoku University

安達太良火山では、1995年10月27日、観測開始以来初めて火山性微動が観測されたことは先に報告したが¹⁾、その後、11月10日08:23~08:24、約50秒間にわたり再度火山性微動が発生した。11月の微動の、安達太良山およびその周辺の観測点における波形記録を第1図に、RMS振幅の時間変化とランニングスペクトルを第2図に示す。卓越周波数が1.2 Hz前後の低周波振動が徐々に振幅を増大し、ピークに達した後徐々に減衰するという活動経過は、10月27日の活動と類似している。10月27日の微動の震源域は、微動中に含まれる低周波イベントの震源から、安達太良山山頂の西2 km、深さ約10 kmと推定されているが、波形の類似性から、今回の微動の震源域も同じ領域と考えられる。

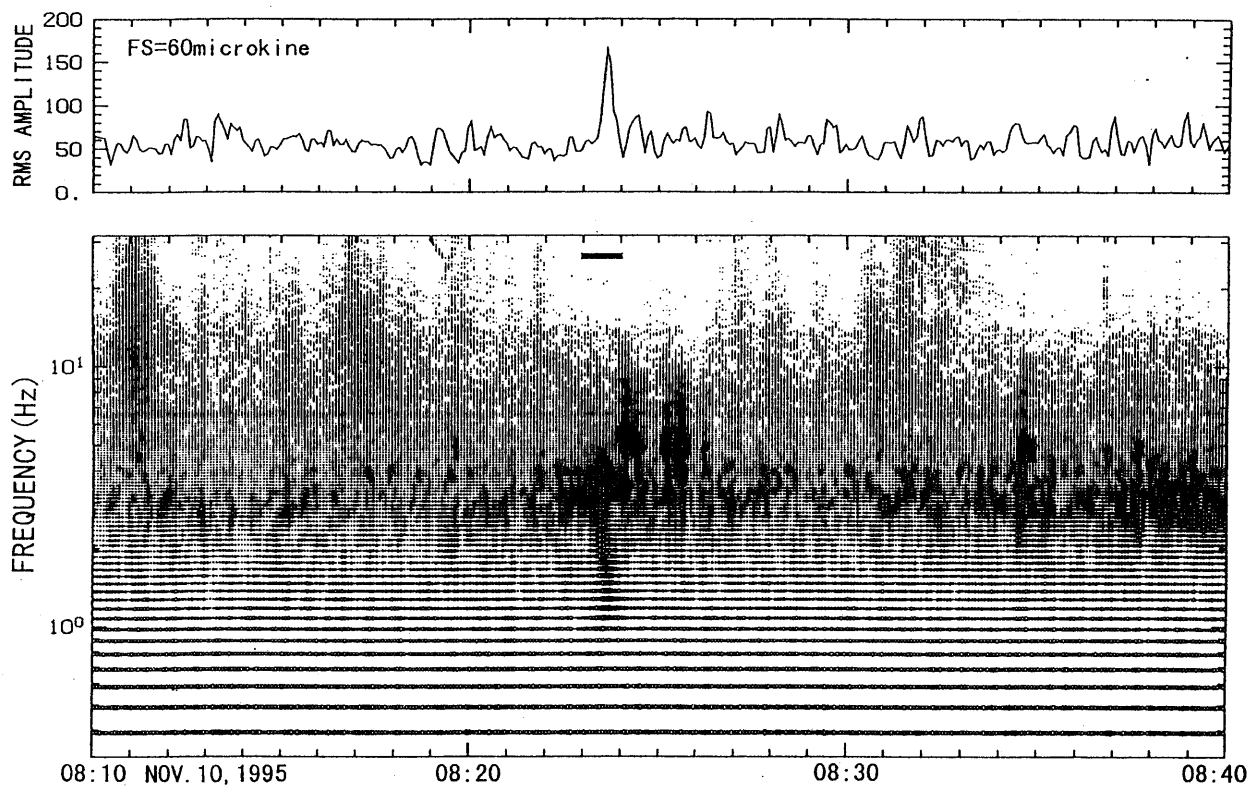
参考文献

- 1) 東北大学理学部 (1996): 1995年10月に安達太良火山で発生した火山性微動, 噴火予知連会報, 63, 9-10.



第1図 1995年11月10日に安達太良火山で発生した火山性微動の記録。
Fig. 1 Seismograms of the volcanic tremor recorded at the stations
in and around Adataro volcano on Nov. 10, 1995.

* Received 19 Apr., 1996



第 2 図 11月10日の微動の安達太良観測点 (ADT) における NS 成分 RMS 振幅の時間変化 (上図) と, ランニングスペクトル (下図)。太い実線は微動発生時間を表す。

Fig. 2 Temporal change of RMS amplitude (upper) and running spectrum (lower) of the tremor of NS component observed at ADT on Nov.10. A solid thick line indicates the time during which the tremor was observed.